

# 船員教育訓練機関の概要

## 座 学

独立行政法人海技教育機構	商船系大学(2校) 【定員:計160名】
	商船系高等専門学校(5校) 【定員:計200名】
	海技大学校(1校) 【定員:40名】
	海上技術短期大学校(3校) 【定員:240名】
	海上技術学校(4校) 【定員:140名】
	海技大学校(再掲) 6級航海専修【定員:68名】(21年度)

**合計 15校 848名**

### 【海技教育機構の業務】

- 内航船員の最大の供給元として、安定的な船員の養成を行う。
- 実務教育として、技術教育訓練やキャリアアップ教育を実施する。
- 一般大学、高校等の卒業者を対象とする課程を拡充するとともに、新たな課程を設置するなど、船員不足への対応を図る。

## 外航

3級海技士 (航海・機関)
4級海技士 (航海・機関)
6級海技士 (航海)

8校  
370名

## 内航

8校  
478名

乗船訓練委託



### 【航海訓練所の業務】

- 5隻の練習船によって、商船系大学、商船系高等専門学校及び海技教育機構を合わせて15校の学生に対する航海訓練を効率的に実施。

## 乗船実習

(条約に基づいた訓練)

独立行政法人航海訓練所	
 船齢 29年	大成丸 (タービン船) 総トン数 5,886トン 実習生定員 140名
 船齢 25年	日本丸 (ディーゼル・帆船) 総トン数 2,570トン 実習生定員 120名
 船齢 20年	海王丸 (ディーゼル・帆船) 総トン数 2,556トン 実習生定員 108名
 船齢 12年	青雲丸 (ディーゼル船) 総トン数 5,890トン 実習生定員 180名
 船齢 5年	銀河丸 (ディーゼル船) 総トン数 6,185トン 実習生定員 180名

※ 船齢は2010.4.1現在